

「家族の集い」通信



第2号
令和2年11月

発行者
神楽・西神楽
地域包括支援センター
精神保健福祉士



皆さま、お身体の調子はお変わりなく、お過ごしでしょうか？
11月に入り、市内でも集団感染が発生するなど、新型コロナウイルス感染症が拡大しています。手指消毒や換気といった感染対策をしながら、皆さまも日々を過ごされていることと思います。なかには、集まりの場への参加を控えている方もいるかと思えます。この通信を通して、また皆さまと少しでも情報共有が出来たら幸いです。

皆さんの声 ～家族の集いに参加してみても～

「家族の集い」も3つの密(密閉・密集・密接)を避けながら、8月から再開をしました。そこで皆さんからあがった声をご紹介します。

〈新型コロナウイルス感染症により、介護する中で影響はありましたか？〉

- ・ 新型コロナウイルス感染症で、気持ちを休めることが出来なくなっています。
- ・ 歩いたりして気を紛らわしていますが、疾患持ちは亡くなるリスクも高いと聞いたので、感染したら…と不安でいっぱいです。
- ・ 外出を控える様に伝えても、うまく認知症の本人に伝わらないのが困ります。
- ・ 病院にお見舞いに行くことも出来ない状態。認知症の妻が私を覚えていてくれるか心配なところがあります。
- ・ 毎日、入院している妻の病院へ連絡して本人の体調を確認しています。本当は毎日連絡するのは、看護師さんに迷惑だろうし、控えるべきなのでしょうけど。
- ・ 地域の方が妻を気に掛けてくれるので、それが心の支えになっています。

〈家族の集いに久しぶりに参加してみても〉

- ・ 年齢を重ねて反省や色々な思いが(家族の集いに参加して)皆さんの話を聞いて感じています。だからこそ、施設見学や地域で開催する勉強会に足を運んで、勉強しています。
- ・ 「家族の集い」は私の中で切っても切れない存在になっています。



感染対策のため、口の字でテーブルを配置し、間隔を開けて座って頂いています！





世界アルツハイマーデーをご存知ですか？



1994年「国際アルツハイマー病協会」(ADI)は、世界保健機関(WHO)と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、認知症の啓発を行っています。

今年は、旭川市と地域包括支援センターの精神保健福祉士が協働し、幅広い世代への啓発を目的に中央図書館にご協力を頂き、認知症関連の本のコーナーの設置や関係機関のリーフレット等の展示もして頂きました！

また、啓発ポスターを作成し、金融機関や医療機関、薬局に掲示の協力を頂きました。

旭川中央図書館の展示は
このように！



掲示依頼したポスターは
こちらです！



～今後の開催のご案内について～

「家族の集い」は8月から再開していますが、新型コロナウイルス感染症対策のため、飲み物の持参や来所前に体温測定をお願いしております。また、新型コロナウイルス感染症だけではなく、冬に近づくにつれて「インフルエンザ」の流行する時期も近づいてきます。手洗いやうがいはしっかりと、お過ごし頂ければと思います。

「家族の集い」も今年も残すところ…あと1回。年内最後に皆さまとお会いできることを楽しみにしております。



家族の集いでは、換気をしながら行っておりますので、膝掛をご持参ください。